

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公開番号】特開2009-270570(P2009-270570A)

【公開日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-104616(P2009-104616)

【国際特許分類】

F 0 2 C 7/22 (2006.01)

F 0 2 C 7/232 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 C 7/22 A

F 0 2 C 7/232 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年10月30日 (2013.10.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タービンを広範囲の負荷で作動させることができる燃料送給システム ( 1 0 0 ) であって、当該燃料送給システム ( 1 0 0 ) が、

( a ) 低エネルギーガス、高エネルギーガス、又は低エネルギーガスと高エネルギーガスとの混合物を含む燃焼組成物を前記タービンに供給するための一次マニホールド ( 1 0 6 ) と、

( b ) 低エネルギーガスを前記タービンに供給するための二次マニホールド ( 1 0 8 ) と、

( c ) 低エネルギーガス入口 ( 1 1 0 )、前記低エネルギーガスの第 1 の部分を前記一次マニホールド ( 1 0 6 ) に供給するとともに低エネルギーガスの第 2 の部分を前記二次マニホールド ( 1 0 8 ) に供給するためのガススプリット ( 1 1 2 )、前記一次マニホールド ( 1 0 6 ) に結合した低エネルギーガス一次マニホールド出口 ( 1 1 4 )、前記二次マニホールド ( 1 0 8 ) に結合した低エネルギーガス二次マニホールド出口 ( 1 1 6 )、及び前記ガススプリット ( 1 1 2 ) と前記低エネルギーガス一次マニホールド出口 ( 1 1 4 ) との間の一次低エネルギーガス停止及び圧力制御弁 ( 1 4 0 ) を備える低エネルギーガス送給システム ( 1 0 2 ) と、

( d ) 高エネルギーガス入口 ( 1 1 8 )、及び前記一次マニホールド ( 1 0 6 ) に結合した高エネルギーガス一次マニホールド出口 ( 1 2 0 ) を備える高エネルギーガス送給システム ( 1 0 4 ) と

を備えており、高エネルギーガスを前記一次マニホールド ( 1 0 6 ) だけに供給できるように構成されている、燃料送給システム ( 1 0 0 )。

【請求項 2】

前記低エネルギーガス送給システム ( 1 0 2 ) が、前記一次低エネルギーガス停止及び圧力制御弁 ( 1 4 0 ) と前記低エネルギーガス一次マニホールド出口 ( 1 1 4 ) との間に一次低エネルギーガス制御弁 ( 1 3 0 ) をさらに含み、

前記低エネルギーガス送給システム ( 1 0 2 ) が、前記ガススプリット ( 1 1 2 ) と前記低エネルギーガス二次マニホールド出口 ( 1 1 6 ) との間に二次低エネルギーガス制御弁 ( 1 3 4 ) をさらに含み、

前記高エネルギーガス送給システム（１０４）が、前記高エネルギーガス入口（１１８）と前記高エネルギーガス一次マニホールド出口（１２０）との間に高エネルギーガス制御弁（１３２）をさらに含む、請求項１記載のシステム。

【請求項３】

前記低エネルギーガス送給システム（１０２）が、前記ガススプリット（１１２）と前記二次低エネルギーガス制御弁（１３４）との間に二次低エネルギーガス停止及び圧力制御弁（１４４）をさらに含む、

前記高エネルギーガス送給システム（１０４）が、前記高エネルギーガス入口（１１８）と前記高エネルギーガス制御弁（１３２）との間に高エネルギーガス停止及び圧力制御弁（１４２）をさらに含む、請求項２記載のシステム。

【請求項４】

前記低エネルギーガス送給システム（１０２）が、前記低エネルギーガス入口（１１０）と前記ガススプリット（１１２）との間に低エネルギーガス停止弁（１４６）をさらに含む、

前記高エネルギーガス送給システム（１０４）が、前記高エネルギーガス入口（１１８）と前記高エネルギーガス停止及び圧力制御弁（１４２）との間に高エネルギーガス停止弁（１４８）をさらに含む、請求項３記載のシステム。

【請求項５】

前記低エネルギーガス送給システム（１０２）が、前記低エネルギーガス入口（１１０）と前記一次低エネルギーガス制御弁（１３０）との間に一次低エネルギーガスパージシステム（１５０、１５２、１５４）をさらに含む、

前記低エネルギーガス送給システム（１０２）が、前記ガススプリット（１１２）と前記二次低エネルギーガス制御弁（１３４）との間に二次低エネルギーガスパージシステム（１６２、１６４、１６６）をさらに含む、

前記高エネルギーガス送給システム（１０４）が、前記高エネルギーガス入口（１１８）と前記高エネルギーガス一次マニホールド出口（１２０）との間に高エネルギーガスパージシステム（１５６、１５８、１６０）をさらに含む、請求項２記載のシステム。

【請求項６】

（e）圧縮機吐出圧力入口（１７８）及び圧縮機吐出圧力出口（１８０）を備えた圧縮機吐出圧力システム（１７６）をさらに含む、前記圧縮機吐出圧力出口（１８０）が、前記二次マニホールド（１０８）に結合される、請求項１記載のシステム。

【請求項７】

前記圧縮機吐出圧力システム（１７６）が、前記圧縮機吐出圧力入口（１７８）と前記圧縮機吐出圧力出口（１８０）との間に圧縮機吐出圧力弁（１８２）をさらに含む、請求項６記載のシステム。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１２

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１２】

I．独立マニホールド二元ガス燃料送給システム

次に図面を参照すると、図１は、独立マニホールド二元ガス燃料送給システム１００の構成を示している。本システム１００は、高エネルギーガス、低エネルギーガス、又は高エネルギーガスと低エネルギーガスとの混合物をタービンに送給するのに使用することができる。重要なことには、本システム１００は、高エネルギー燃料及び低エネルギー燃料の両方を送給することができるが、高エネルギー燃料は単一のマニホールドにしか流入できない。高エネルギー燃料を単一のマニホールドにしか送給しないことによって、本システム１００は、マニホールド内に蓄積するエネルギー量を減少させ、それによってタービン過剰速度の危険性を低減することができる。

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 1】

低エネルギーガス送給システム 1 0 2 はまた、低エネルギーガス入口 1 1 0 とガススプリット 1 1 2 との間に低エネルギーガス停止弁 1 4 6 を含むことができる。同様に、高エネルギーガス送給システム 1 0 4 もまた、高エネルギーガス入口 1 1 8 と高エネルギーガス停止及び圧力制御弁 1 4 2 との間に高エネルギーガス停止弁 1 4 8 を含むことができる。停止弁 1 4 6 及び 1 4 8 は、それぞれ低エネルギーガス送給システム 1 0 2 及び高エネルギーガス送給システム 1 0 4 を通るガスの流れを停止させるように使用することができる。例えば、タービンが高エネルギーガスのみで作動している場合には、低エネルギーガス停止弁 1 4 6 により、低エネルギーガス送給システム 1 0 2 を通るガスの流れを停止させて、一次マニホールド 1 0 6 を通して高エネルギー燃料しか流れないようにすることができる。さらに、タービンが低エネルギーガスのみで作動している場合には、高エネルギーガス制御弁 1 4 8 により、高エネルギーガス送給システム 1 0 4 を通るガスの流れを停止させて、一次マニホールド 1 0 6 を通して低エネルギー燃料料しか流れないようにすることができる。